

しよまいか

20代、30代、40代前半の男性・女性建築士の皆さん、
みんなで「しよまいか」

発行者：岐阜県建築士会 青年委員長 伊藤誠一郎

東海北陸ブロック会
高山大会特別号

平成23年2月26日(土)、27日(日)の2日間、飛騨高山において建築士会東海北陸ブロック高山大会が開催されました。
建築士会に所属する東海北陸7県(静岡、愛知、岐阜、三重、福井、石川、富山)の青年・女性建築士が一同に会し1泊2日で、研修会を開いたり、講習を受けたり、共同で作業しながら、普段はなかなか接することのない他県の建築士と交流する青年・女性委員会として年に1度の行事です。各県持ち回りで開催し、今年度の開催県は岐阜県でした。
2010年度冬号の「しよまいか」は「東海北陸ブロック会高山大会特別号」と題して、大会内容を報告したいと思います。



高山駅観光案内所前 大会案内看板

大会スケジュール

- 1日目- 高山グリーンホテル
- 【受付】2階ロビー
- 【閉会式】天月の間
- 【分科会】
 - 第1分科会 一位一刃彫体験 瑞祥の間
 - 第2分科会 おんざい岐阜 鳳凰の間
 - 第3分科会 高山・祭り屋台技術保存 天風の間、高山屋台台会館、他
- 【全体会】城山の間
- 【各県報告発表】城山の間
- 【地域実践発表】城山の間
- 【懇親会】天山の間
- 2日目- 飛騨地域地場産業振興センター
- 【閉会式】5階大会議室
- 【見学会】解散後高山市内

受付



大会受付 高山グリーンホテル2階ロビー

岐阜県以外の東海北陸6県の青年建築士・女性建築士が、会場の高山グリーンホテルにぞくぞくと集まってきました。
まずは各県毎に受付を済ませてもらいます。CPD登録も同時に行ってもらいます。

閉会式



閉会式 高山グリーンホテル 天月の間



岐阜県建築士会 藤井会長の挨拶



建築士会連合会青年委員 大石委員長の挨拶

分科会

【第1分科会】

飛騨の伝統工芸、一位一刃彫のペーパーナイフ製作体験です。
岐阜県の木にもなっている「一位(イチイ)の木」を小刀で削りながら形を整え、富士山の形のペーパーナイフを2時間あまりで製作してもらいます。
慣れない作業に悪戦苦闘の参加者でした。



【第2分科会】

おんざい岐阜(誰にもやさしいまちづくり)と題して、観光都市として発展する高山市の「ユニバーサルデザイン」の考えに基づいた取り組みを学びながら、自分たちの街にどのように応用出来るか、参加者それぞれで考えてもらおうとの講習です。
高山グリーンホテルにある身体弱者に配慮したコントラストルームも見学しました。



【第3分科会】

高山の文化遺産、高山祭り。その高山祭屋台の保存技術とそれを継承していく「わざ」に触れ、その奥深さを感じてもらおうと企画された見学会です。
座学の後、バスにて移動し高山屋台村会館、そして普段は祭りの時にしか、開かれることのない屋台蔵を開けてもらい、実物の山車を前に講義を受けました。



全体会・各県報告・地域実践発表



全体会 高山グリーンホテル 城山の間

全体会では、連合会青年委員の報告、各県ごとの活動報告、地域実践活動の発表を行いました。
各県の活動報告では、一年間の取り組みを10分程度にまとめて報告し合いました。県によって活動方法や趣旨など様々で、今後の活動に役立つ多くのヒントを持ち帰ることが出来たのではないかと思います。
地域実践活動報告は、事前に代表に選ばれた愛知県の「君も未来の建築士、体感しよう力と強さ」で紙を使って何処までの力に耐えられるか?を参加者と共に体感する取り組みです。子供達が作った紙の台に何人乗れるかを競うもので大変解り易く、盛り上がりとても参考になる活動でした。

懇親会



懇親会場 高山グリーンホテル 天山の間

参加総勢206名という、今までにない大勢の方にお越しいただき、いよいよ懇親会の開幕です。
脚本飛騨支部長を筆頭に、飛騨支部の方による、祝い唄「めでた」の披露で幕を開けました。めでた〜、めでた〜、若松さまよ〜という花笠音頭を独特の節回りで唄い上げる、高山の宴席には欠かせない独特の風習です。これが出て以降の宴は無礼講、どんとお酒が注がれます。
その後披露された女性8名による、高山陣屋太鼓の華麗な演奏は見事なものでした。しかし、今回なんとと言っても参加者の目を釘付けにしたのは、岐阜県建築士会青年委員と瓦葺組合青年部とのコラボによる、華麗なダンス(AKB48の会いたかった)でした。
この日の為に、個人練習、合同練習にと汗を流したダンサー達は晴れの舞台で、練習の成果を遺憾なく発揮しました。
岐阜県建築士会青年委員長の、「懇親会に参加している全ての人に「楽しんでほしい」との強い想いから、テーブル対抗のアトラクションを企画しました。
7県入り乱れて、参加者のみなさんを舞台上に引っ張り上げ、牛乳の早飲みをやってもらったり、文字の並び替えゲームに参加してもらったりと、当初2時間の予定だったものが、3時間近くと、大幅に延長となってしまいました。
高山グリーンホテルのスタッフの方には大変お世話になりました。



飛騨支部一同「めでた」の唄披露



高山陣屋太鼓の演奏



建築士会青年・瓦葺組合青年による華麗な舞



舞台上のテーブル対抗アトラクション

閉会式



閉会式 飛騨地域地場産業振興センター

会場を飛騨地域地場産業振興センターに移し、閉会式です。今回のブロック大会総括と今後の活動方針、ブロック運営委員長の交替引き継ぎの挨拶などを行いました。
次年度開催県である三重県から、F1の開催でも有名な、鈴鹿サーキットでのブロック大会開催が案内されました。最後に岐阜県建築士会青年委員・女性委員スタッフ一同からお礼の言葉と、今回参加された瓦葺組合青年部の方からの挨拶によって、全ての公式プログラムを終えました。この後、各県毎に高山の街並み見学へと、散会していきました。



次年度開催県 三重県の挨拶



開催県 岐阜県の挨拶



水浸しとなったホテルのロビー

～地球も震える～
大会2日目の2月27日(日)2時19分頃に飛騨地方を震源とするM4.9の地震が発生。その後も余震が続き、5時38分頃M5.4、高山市で震度4という大きな地震がありました。
参加者が滞在していたホテルも配管が損傷、漏水により客室やロビーが水浸しに!!!!!!
給湯が止まりシャワーも使えず、エレベーターもストップするという、おまけ付の大会となりました。

はじめて参加して

今回、高山にて大会が行われるという事からひょんな縁で設営の方でお手伝いさせて頂きましたが、皆さん真剣にこの建築士会という団体の活動に取り組みされている姿に感銘を受けました。今回の大会を通してできた出会いを大切にしながら、これから一建築士としてだけでなく建築士の活動に参加できればと思っています。(飛騨支部 洞口貢)

建築士会の大会に今回初めて参加させて頂きましたが、他地域の方との交流がいかに大切なのかを実感いたしました。自分の地域だけでは感じる事が出来ない事もあり、とても刺激的な大会でした。今後このような機会には参加したいです。(飛騨支部 田中武則)

同じ職業の人々がこんなに揃う機会は私としては初めてでした。懇親会では沢山の地域の方とざっくばらんに話しかけ出来た楽しいひとときでした。二次会は飛騨のお酒と漬物、お菓子と共に盛り上がりました。一口に女性といっても様々な活動をしておられることが分かり、すごく心強く思いました。女性というものを特別視するのではなく、女性だからこそ出来ることがあるという話をしてくださる方がいて、体験から来る言葉には重みがありました。(飛騨支部 井之口洋子)

準備手伝いの一部しか参加できませんでしたが、人が集まって交流するのは心地いい余韻が残ります。余興のAKBは間違いなく盛り上がりました。(加茂支部 後藤康弘)

建築士会に入会して間もなく初めての大きな大会に参加する事となり、とても緊張しました。私は写真撮影等の担当でした。運営スタッフとしてとても忙しかつたのですが、分科会に参加し一刃削りの体験をしたり、懇親会のお手伝いなど楽しませていただきました。また他県の若い建築士の方と交流し、とても刺激を受けました。(岐阜支部 金谷純市)